

◇ 令和3年度 指定管理者事業評価書

施設名	のびっ子「常盤」			指定管理料	利用料金	支出	経理の状況	施設運営の方針	
施設所管課	子ども未来部	子ども・若者政策課	初年度	18,393,829円	/	19,970,431円	コロナの補助も加味しつつ、効果的な予算執行が行われた。(差額については、おやつ代等に対応)	運営や事業の実施をより良い、質の高いものへとしていきます。	
施設HPアドレス	https://minnanoie.roukyou.gr.jp		2年目	18,489,946円		21,518,050円	コロナの補助も加味しつつ、効果的な予算執行が行われた。(差額については、おやつ代等に対応)	コロナ禍での安心安全で健全な保育。	
指定管理者名	労協センター事業団			3年目					
指定期間	令和2年4月1日 ~ 令和7年3月31日			4年目					
評価対象期間	令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日			5年目					

●総合評価の基準		
5	☆☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆☆である
4	☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である
3	☆☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆☆である
2	☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆である
1	☆	評価基準に☆が1以上ある

○その他の項目	
公募・非公募の別	公募
使用料・利用料金制の別	使用料
指定管理者による運営開始日	平成21年4月1日
施設の供用開始日	平成10年度
指定管理導入前の運営形態	包括的委託

◆総括評価を概括した総合評価の所見(成果・改善等)

●指定管理者の総合自己評価…	☆☆☆☆	●市(施設所管課)の総合評価…	☆☆☆☆
令和3年度の管理・運営に係る事業目標(年度当初に記入) 子どもを真ん中に据えたまちづくりを目指し、保護者や地域との協働をすすめる。コロナ禍で様々な人との関わりが希薄になり、様々な経験や体験をする機会がなくなり、まだまだ我慢の日々が続きそうな世の中で、いかに保護者も子どもも安心して楽しく過ごせるか支援員の力が問われている。適切な事業収支を目指す。		事業目標および管理・運営に対する評価(事業年度終了後記入) 概ね適正な管理運営ができています。人員配置、保育業務、学校・地域との連携、児童・保護者への対応、苦情・要望への対応など、サービスの質の向上に努めながら、良好に管理運営がなされている。	
事業目標および管理・運営に対する自己評価(事業年度終了後記入) 昨年度はまったくできなかった地域の方とのふれあう場が何度か設けられた。芋掘りに参加、高齢者施設への手作りプレゼント、地域の方の梅ジュース作り教室など。学校の指導主任の先生と定期的に情報交換会を開くなど学校との連携も密に。個人調査票を紛失してしまうということがあり、個人情報の管理の見直しをはかった。安心な運営ではなかったことを反省し改善。		公募・非公募、使用料・利用料金制の導入についての効果の検証 (公募による応募状況等) 公募による募集を行い、草津市指定管理者選定評価委員会での審査、意見により候補者選定を行った。現指定管理者は過去からの実績を踏まえ、他の申請団体と比して保育理念等に優れ、児童に対する安全管理について学校等関係機関との連携を密にしている点で高く評価でき、指定施設の効用を最大限に発揮した施設の管理・運営を果たしている。 (使用料導入についての効果の検証) 公設児童育成クラブは草津市児童育成クラブ条例に基づき、保育料を一律としているため、他クラブとの差異や、指定管理者としてのインセンティブはなく、利用料金制の導入は行っていない。	

◇施設に係る主な指定管理業務	
草津市児童育成クラブ条例第3条に定める、次に掲げる業務	
(1) 放課後児童健全育成事業の実施に関する業務	
(2) クラブの施設および設備の維持管理に関する業務	
(3) 前2号に掲げるもののほか、市長が必要と認める業務	

◆評価基準	
☆☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりもはるかに優れた内容である
☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、概ねその水準に沿った内容である
☆☆	仕様書・協定書等の基準は遵守し、若干の改善が必要な内容である
☆	仕様書・協定書等の基準を遵守しておらず、改善が必要な内容である

施設全般の管理運営に関する業務(職員の配置や研修の実施、入所状況等)(仕様書 P1,2)				
評価項目1	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	基準に沿った職員配置を行い、安全安心な保育の実施に努めた。入所状況も適切だった。	上半期評価	コロナ禍の中ではあるが、仕様書に定める基準を遵守しながら利用者との問題もなく適正に運営された。
	☆☆☆		☆☆☆	
	下半期評価	基準に沿った職員配置を行い、安全安心な保育の実施に努めた。下期は研修への参加も増え、コロナ禍での遊びや虐待の研修がメインだった。入所状況も適切だった。	下半期評価	コロナ禍の中ではあるが、仕様書に定める基準を遵守しながら利用者との問題もなく適正に運営された。研修に積極的に参加され、また、受講後レポートを作成し、受講できなかった支援員に共有できる仕組みづくりも出来ており、支援員等の資質向上に努められた。
☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆		

事業の実施に関する業務(保育・事業の充実に向けた取組、個人情報の取扱い等)(仕様書 P1,2)				
評価項目2	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	上期、夏休みなどは遠足などの外出がまだ難しいため新しい行事を取り入れるなど、楽しめる工夫をした。地域の行事への参加や、地域の方との交流も取り入れるなどコロナ禍を加味しながら行うこともできた。個人情報を含む書類などは鍵付きロッカーに保管し管理をした。学校と定期的に情報交換会を行う。	上半期評価	コロナ禍ではあるものの、イベントについては、児童が主体的となって企画し、自主性や社会性を身につけるよう工夫された。また、個人情報についても、鍵付きの机に保管し、適正な管理をされていた。クラブの特性を活かしたコロナ対策を実施されていた。
	☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆	
	下半期評価	保育では文化祭(初)を行い保護者向けに展示会を行った。保護者の方からは高評価をいただくことができた。学校や学童内でコロナ陽性者が数名出たこともあり、途中おやつを提供を中止した。個人情報は、一件、紛失してしまうことがあり、保護者の方に心配と迷惑をかけてしまった。学校と定期的に情報交換会を行う。	下半期評価	コロナ禍ではあるものの、文化祭という初の試みを講じる等充実した保育をされた。個人情報については、取り扱いには細心の注意を払うこと。個人調査票等個人情報の取り扱いについては、再度検証し、取り扱いについては細心の注意を払うこと。
☆☆		☆☆		

児童の保育に関する業務(おたよりの活用、アンケートの実施、児童への対応等)(仕様書 P2,3)				
評価項目3	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	毎月のお便りの配布(保護者、民生委員)で学童の様子を知っていただく。お迎え時の保護者対応やメールなど用いてコミュニケーションを図る。児童の健全育成のための活動を考え実施。	上半期評価	保護者や地域の方には、毎月のおたよりで児童の普段の様子を伝えられていた。イレギュラー等が発生した際は、送迎時に保護者に報告された。
	☆☆☆☆☆		☆☆☆	
	下半期評価	毎月のお便りの配布(保護者、民生委員)で学童の様子を知っていただく。お迎え時の保護者対応やメールなど用いてコミュニケーションを図る。児童の健全育成のための活動を考え実施。保護者アンケートを実施し、よりよい運営につなげる。	下半期評価	おたよりを通じて児童の様子を保護者に伝えられていた。保護者に対して実施したアンケートの結果を受け、改善に向けた行動を取られていた。
☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆		

管理物件の維持保全等に関する業務(保守点検、安全対策等)(仕様書 P3,4)				
評価項目4	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	日常点検、法定点検を行った。学校の月に1回の点検も行った。毎日清掃も行き、コロナ禍で保育前の消毒作業も行う。避難訓練、防犯訓練、ケガ対応など、児童や支援員の訓練を行い、マニュアルも見直した。	上半期評価	日常点検、法定点検に加え、小学校が実施する月に1回の点検にも協力された。安全対策として、防犯・防災マニュアルを作成し、それに基づいて避難訓練を実施された。また、マニュアルについても、支援員の配置状況に応じた内容に修正し、内容も簡潔なものになるよう編集された。
	☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆	
	下半期評価	日常点検、法定点検を行った。学校の月に1回の点検も行った。毎日清掃も行き、コロナ禍で保育前の消毒作業も行う。避難訓練、防犯訓練、ケガ対応など、児童や支援員の訓練を行う。	下半期評価	日常点検、法定点検に加え、小学校が実施する月に1回の点検にも協力された。安全対策として、防犯・防災マニュアルを作成し、それに基づいて避難訓練を実施された。
☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆		